

# nikkor club

279

2024 WINTER

特集 もっとポジティブに

人物スナップを愉しもう！





台湾の基隆。日本統治時代、ここは主要な港町だった。埠頭脇に立つ建物は合同庁舎として1934年に日本人の手によって造られた。雨と霧に包まれながら、一世紀前を記録するわたしの旅は続く。 Z7 II ・ PC-E NIKKOR 24mm f/3.5D ED + マウントアダプター FTZ II ・ f/14 ・ 1/1.3秒 ・ ISO64



Photography  
Portfolio — vol.3

小林紀晴

自分らしい表現を

# Nikon College

## リニューアルスタート！

ニッコールクラブ会員の皆様にも受講いただいています、ニコンの写真教室「ニコンカレッジ」が、「自分らしい表現を」をテーマに2024年10月よりリニューアルスタートいたしました。今回のリニューアルでは、カメラを始めただけの方でも気軽に参加できる「1日体験クラス」から「基礎」、「実践」、「写真表現」、そして作品展示や写

真集制作などの作品発表を目指す「作品創作クラス」までをご用意し、初心者から上級者まで幅広いお客様のご要望にお応えします。総勢50名を超える第一線で活躍するプロのフォトグラファーやクリエイターの人気講師陣が、きめ細やかなサポートと丁寧なレクチャーで、皆様のご参加をお待ちしております。

### 注目の新しいクラスのご紹介

#### 1 1日体験クラス

週末1日3時間完結のワークショップ形式で、講師や他の受講生とのコミュニケーションが取りやすい「少人数制」のクラスです。講師が受講生一人一人をしっかりとサポートします。気軽に講師に質問ができ、受講者同士で撮影や表現を楽しみながら学べます。

#### 2 作品創作クラス

作品展示や写真集制作などの作品発表を目指す少人数制の6ヶ月間にわたる長期講座です。テーマ設定や写真のセレクトから、写真の見せ方、美しいプリントのための画像の仕上げ処理などのアウトプットまで、作品発表に必要な考え方や一連のプロセスを時間をかけてじっくりと学ぶことができます。

### 初心者から上級者まで楽しめるカリキュラム

#### ① 1日体験クラス

撮影や表現の楽しさを気軽に体験できる講座

#### ② 基礎クラス

撮影の基礎や写真の基本がしっかり身に付く講座

#### ③ 実践クラス

イメージ通りに撮影するためのテクニックを実践で学べる講座

#### ④ 写真表現クラス

作品づくりの技術を学び「自分らしい表現」を追求する講座

#### ⑤ 作品創作クラス

作品展示や写真集制作などの作品発表を目指す長期講座

#### ⑥ オンラインクラス

全国どこからでも受講できる、講師と双方向のコミュニケーションがとれるライブ講座

### 全国7都市で講座を開催！

札幌・仙台・東京・名古屋・  
大阪・広島・福岡  
全国どこからでも  
受講可能な  
オンライン講座も充実



ニッコールクラブ会員  
**¥1,000 割引**  
～¥5,000

※割引対象外の講座もございます。  
詳細はニコンカレッジWebサイトをご確認ください。

1月・2月・3月講座

12月12日(木) 申込受付開始

<https://www.nikon-image.com/nikoncollege/>

詳しくはニコンカレッジWebサイトをご覧ください。

※12月11日(水) Web公開予定



## CONTENTS



表紙写真 ミゾタユキ

旅の予定をたてるときは、地元のイベントがあるタイミングに合わせています。このときも民族衣装を着た人がたくさん。目があったときに自然に迎えてくれたうれしい瞬間でした。

## 特集

## 08 もっとポジティブに人物スナップを愉しもう

写真・解説 熊切大輔／ミゾタユキ／松尾 純

## 自分らしい表現を

## 02 Nikon College リニューアルスタート！

## コンテスト

- 34 サロン・ド・ニッコール カラーの部  
選評：小林紀晴（1～3席）／大西みつぐ
- 46 サロン・ド・ニッコール モノクロームの部  
選評：ハナブサ・リュウ
- 54 ネイチャー・フォトサロン  
選評：三好和義
- 62 ステップアップ・フォトサロン  
選評：秋山華子
- 67 ワンポイントアドバイス
- 68 総評・得点表
- 70 予選通過者一覧
- 作品
- 04 THE GALLERY企画展  
「煙か闇か爆ぜ物」 別所隆弘
- 06 THE GALLERYセレクション展  
「roundabout」 小見山 峻
- 表4 大西みつぐ×NIKKOR Z 14-30mm f/4 S

## 製品情報

- 30 PRODUCT REVIEW VOL.29  
Z50II 上田晃司
- 77 ニッコールクラブ会員限定  
「NIKKOR Z 50mm f/1.4」  
「ニコンカレンダー2025」  
「ARCREST II PROTECTION  
FILTER 特別販売」のご案内

## 連載

- 表2 Photography Portfolio Vol.3  
小林紀晴
- 22 インスピレーション Vol.3  
私が影響を受けた『デイヴィッド・ホックニー』  
三好和義
- 24 多彩な現場でも  
その実力を発揮するニッコールレンズの魅力に迫る  
集合写真×NIKKOR Z 14-24mm f/2.8 S  
写真・解説：杉山雅彦
- 26 THE AWARD WINNER  
第72回 ニッコールフォトコンテストグランプリ受賞者  
井口絵理香 文・写真：タカザワケンジ
- 28 エプソン 楽しくきれいにプリント講座 Vol.22  
プリントの悩みを解消するには? コムロミホ
- 32 アベっちの使った! 撮った! vol.7  
NIKKOR Z 50mm f/1.4 阿部秀之

## インフォメーション

- 07 写真展スケジュール
- 71 支部だより・支部展情報
- 72 会員写真展 PickUP!  
「掌」藤崎優子／  
「大峰 ～身近な宝箱～」木下一浩
- 73 NCニュース
- 78 イベントレポート・イベントニュース

## 表3 自分らしい表現を Nikon College

巻末 ニコンダイレクトFAXご注文書  
ニッコールクラブ登録情報変更依頼書  
会報280号フォトコンテスト応募規定



THE GALLERY 企画展

別所隆弘

# 「煙か、闇か、爆ぜ物」



# 火

葉が爆ぜる。爆発する。闇の中に光が放たれる。

夜の闇が光で満たされ、見上げる顔には驚きが、笑顔が、もしかしたらその爆発を生まれて初めて見る赤ん坊の泣き顔が、様々な感情が千変万化する炎色反応のように人々の顔に浮かび上がる。花火はまさに夏の夜空を染め上げる「華」だ。だが私がその美しい光と共に心惹かれるのは、その爆発直前の予感に満ちた沈黙と、爆発直後の余韻。起源の直前の闇と、副産物のように生まれ出でる煙なのだ。

本展示は、写真の根源である「光」と「闇」を、花火をテーマとして追うものである。展示であると同時に、私にとってそれは、文学研究者であった頃にやっていた「研究発表」に近いものになるだろう。なぜなら、それは「世界を自分の目で理解したい」という、根源的な私の活動の原点を共有した行為だからだ。

ぜひその成果を、多くの人にも「体験」してもらいたい。そう、本展示のもう一つのテーマは「光と闇の体験」でもある。写真展示の会場に来てもらうことの意味を、来場者の皆様とともに追求したいと思っている。

ベッショ・たかひろ  
フォトグラファー/文学研究者/関西大学社会学部メディア専攻講師  
写真と文学という2つの領域を横断しつつ、「その間」の表現を探究している。滋賀、京都を中心とした“Around The Lake”というテーマでの撮影がライフワーク。Z8の公式プロモーションに出演。近著『写真で何かを伝えたいすべての人たちへ』。



ニコンプラザ東京 THE GALLERY 2025年2月25日(火)～2025年3月10日(月)

ニコンプラザ大阪 THE GALLERY 2025年3月20日(木)～2025年4月2日(水)

開館時間…10:30～18:30 (最終日は15:00まで) 休館日…日曜日

※予告なく写真展の会期・開催時間が変更または中止になることがあります。事前にご確認の上お越しください。

THE GALLERY セレクション展

小見山 峻

# 「roundabout」



こみやま・しゅん

写真家。神奈川県横浜市出身。「現実の出来事に対する視点を記録する」という写真の本質を突き詰め、コンピュータによる合成加工などに頼ることなく、グラフィカルな世界を建築する。2018年JWアンダーソン主催の"YOUR PICTURE / OUR FUTURE"にて日本人で唯一ファイナリストに選出されるなど、海外からの注目も集め、同年に初の写真集「hemoglobin」を出版。主な個展に同名の「hemoglobin」、「冴えない夜の処方箋」、KYOTO GRAPHIE KG+「なにものでもないものたちの名づけかた」など。2021年に渋谷PARCO 10F屋上スペースを全面的に使用した大規模インスタレーション展示「風が応える」を開催するなど、常に「写真」でありながら、そのアウトプットは多岐にわたる。

## 僕

たちはしばしば、回転によって運ばれてゆく。車輪であったり、時間であったり、感情であったり、そしてこの地球であったり。実際、世界は物理的にも概念的にも常に高速で回転していて、まったく、よく僕らは平気な顔して立っていられるもんだ。気づかない内に酔ったり振り落とされていてもお

かしくないのに。なまじ視界がどつしりと固定されているから、その回転の速さに気づかない。カメラや被写体を色々な方法で回してみよう。時計の針のように、地球の自転のように、うなるトラックのタイヤのように。それらの写真たちは、常に何かに回転させられている僕らの、一番客観的な姿なのかもしれない。

ニコプラザ東京 THE GALLERY 2025年1月28日(火)～2025年2月10日(月)

ニコプラザ大阪 THE GALLERY 2025年2月20日(木)～2025年3月5日(水)

開館時間…10:30～18:30 (最終日は15:00まで) 休館日…日曜日

※予告なく写真展の会期・開催時間の変更または中止になることがあります。事前にご確認の上お越しください。

※日曜定休日（祝日は営業）

■ ニッコールクラブ会員写真展

■ ニッコールクラブ アドバイザー写真展

■ ニッコールクラブ写真展

# PHOTOGALLERY INFORMATION

|                        | ニコンサロン                                     | ニコンプラザ東京 THE GALLERY                                                      | ニコンプラザ大阪 THE GALLERY                                                      |
|------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 12月                    | 11/26(火)～12/9(月)<br>石川直樹<br>「奥能登半島」        | 11/26(火)～12/9(月)<br>THE GALLERY セレクション展<br>西村仁見<br>「Kトラ物語 K-TRUCK DREAMY」 | 11/21(木)～12/4(水)<br>ニッコールクラブ会員展<br>奥野忠昭<br>「”灯無音街”憧憬」                     |
|                        | 12/10(火)～12/23(月)<br>李 致寧<br>「蓬萊」          | 12/10(火)～12/23(月)<br>第72回ニッコールフォトコンテスト<br>入賞作品展                           | 12/5(木)～12/18(水)<br>第30回酒田市土門拳文化賞受賞作品展<br>宮崎 豊<br>「新世界に咲く紅い花・<br>コロナ禍を経て」 |
|                        | 12/24(火)～1/13(月)<br>小玉真由美<br>「母型」          | 12/24(火)～1/13(月)<br>ニッコールクラブ会員展<br>藤崎優子<br>「掌」                            | 12/19(木)～1/8(水)<br>THE GALLERY セレクション展<br>西村仁見<br>「Kトラ物語 K-TRUCK DREAMY」  |
| 年末年始休業 12/28(土)～1/5(日) |                                            |                                                                           |                                                                           |
| 1月                     |                                            |                                                                           |                                                                           |
|                        | 1/14(火)～1/27(月)<br>西山 廉<br>「写真次元 #2」       | 1/14(火)～1/27(月)<br>フォトシティさがみはら 2024<br>プロの部受賞作品展                          | 1/9(木)～1/22(水)<br>関西スポーツ紙写真展                                              |
|                        | 1/28(火)～2/10(月)<br>矢嶋裕美子<br>「母のスケッチブック」    | 1/28(火)～2/10(月)<br>THE GALLERY セレクション展<br>小見山 峻<br>「roundabout」           | 1/23(木)～2/5(水)<br>第72回ニッコールフォトコンテスト<br>入賞作品展                              |
| 2月                     | 休業（ビル休館日） 2/11（火）                          |                                                                           | 2/6(木)～2/19(水)<br>ニッコールクラブ会員展<br>木下一浩<br>「大峰 ～身近な宝箱～」                     |
|                        | 2/12(水)～2/24(月)<br>久保圭一<br>「祈り ー海と共にー」     | 2/12(水)～2/24(月)<br>写真専攻 大学・専門学校選抜作品展<br>New Generation Photography 2025   | 2/20(木)～3/5(水)<br>THE GALLERY セレクション展<br>小見山 峻<br>「roundabout」            |
|                        | 2/25(火)～3/10(月)<br>渡壁万理子<br>「ゆく川の流れ ～曾祖母～」 | 2/25(火)～3/10(月)<br>THE GALLERY 企画展<br>別所隆弘<br>「煙か闇か爆ぜ物」                   | 3/6(木)～3/19(水)<br>写真専攻 大学・専門学校選抜作品展<br>New Generation Photography 2025    |

※予告なく写真展の会期・開催時間が変更または中止になることがあります。事前にご確認の上お越しください。

# 人物 スナ ップ を 愉 し も う ツ プ を

もっとも  
ポジティブに!

Enjoy Snap Shots!

横浜の港でスケボーをしていた少年たち。彼らに話しかけて、しばし談笑。和んだところで、シンクロしたシーンを撮りたいとリクエスト。コミュニケーションをとりながら撮影を理解してもらい協力してもらうのも、いいシーンを作るひとつの手段。

写真：熊切大輔



# nikkor club

もっと自由に、もっと自然に人物スナップを楽しみませんか？  
スナップ写真は、その瞬間、その場所、そこにいる人々の  
“今”を記録する大切な役割を担っています。  
一瞬の表情、仕草や雰囲気織りなす作品が、  
いつの日かの特別な記憶となることも。  
街中で出会った人々、旅先で出会った人々、  
身近な家族や友人を被写体にして  
もっともっと、人物スナップを愉しみませんか？

- chapter 1 熊切大輔と考える、街中での人物スナップ
- chapter 2 ミゾタユキが愉しむ、旅先での人物スナップ
- chapter 3 松尾 純が提案する、家族をモデルにした人物スナップ

熊切大輔と考える • DAISUKE KUMAKIRI

# これからの人物スナップ

撮るのが少し怖い……？ 街中での人物スナップ、カメラを向ける瞬間をもっと愉しみませんか。  
街中の一瞬をもっと切り取り、今を記録。あなたの視点で、これからの未来に、  
この瞬間を切り取って残していこう。



Z8・NIKKOR Z 28-75mm f/2.8-1/1000 秒・ISO400

もしも人々が写らない作品しか  
なくなってしまったら

「スナップ写真は色々ありそうだから  
止めておこう」そんな声を最近聞くこ  
とがあります。

特に人物が入るカットに関してネガ  
ティブなイメージがあり敬遠してい  
る方もいるのではないのでしょうか。みな  
さんが気になるのが「肖像権」の問題。  
これはそのとらえ方やケースバイケ  
スな部分が多く、これをしていれば大  
丈夫、これが正解、と言い切るのは正  
直難しいものです。そんな漠然とした  
不安があるため、人々が写らない作品  
しか残らなくなったらどうなるでし  
ょう？

人は時代を象徴します。よく時代を  
あらわすときに「聖子ちゃんカットが流  
行った頃」「ルーズソックスが流行った  
頃」などヘアスタイルやメイク、ファッ  
ションで語られることが多いと思いま  
す。それらの人物が活き活きと街の景  
観とともに写ることによって時代を象  
徴した1枚が生まれると思います。そ  
の瞬間に生きる人という重要な記録を  
どう表現すべきでしょうか。

あるモデル撮影会があり指導した際  
にこんな参加者の方がいました。「もっ  
と向こうを向いて！」「違うそうじやな  
い！」などと乱暴な言葉でモデルさん  
に、指示を出していました。すかさず



### 街の風景の一部として撮る

偶発的な出会いもスナップ写真の醍醐味だろう。前からひょっとこが現れたら本能的にレンズを向けてしまう。そこで彼も反応し頼んでもいないのにポーズ、一瞬のコミュニケーションが楽しかった。カメラを向けても、相手が嫌がるようであれば撮り続けても大丈夫。撮り終わった後に挨拶を忘れずに。

### 声をかけてカメラ目線で撮る

不思議な人であった。なぜその格好でそうしているのか、話したことで納得がいった。そのうえで写真を撮らせてほしいとお願いしたら快く受けてくれた。まず、その人に興味が湧いたら話しかけて、コミュニケーションをとってから写真のお願いをしてみよう。



「モデルさんは物じゃありませんよ。優しく声をかけてくださいね」と指導させていただきました。撮影に限らず人と人が良好な関係を築くには丁寧なコミュニケーションが必要です。相手の立場に立って嫌な思いをさせない気遣いも必要だと思います。これは街スナップでも同じことが言えるでしょう。そんな人物スナップのマナーやルールについて考えて、もっとポジティブに人物スナップを楽しんでもらえたらと思います。



## 声をかけて自然な表情の 写真を撮る

日本一古いと言われる地元の駄菓子屋さん。子どもの頃から馴染みのあるお母さんとひとしきり思い出話。その後「写真を撮っても良いですか？」コミュニケーションが自然な表情を引き出すのだ。

Zfc・NIKKOR Z 28mm f/2.8-f/2.8・1/160 秒・ISO400

「人を撮る」ということは様々なケースが想定されます。

- 街の風景の一部として撮る
- 後ろ姿やシルエットで撮る
- 声をかけてカメラ目線で撮る
- 声をかけたうえでカメラ目線ではない写真を撮る

などそれぞれの表現に応じて人の活かし方が変わります。まず公共の場において引きで全体像を撮影した場合、一般的には許諾等を取る必要がなく、撮影可能と言われています。人々の動きが街のライブ感、生命力を感じさせ

## 「人を撮る」どう撮るか？

「人を撮る」ということは様々なケースが想定されます。

- 街の風景の一部として撮る
- 後ろ姿やシルエットで撮る
- 声をかけてカメラ目線で撮る
- 声をかけたうえでカメラ目線ではない写真を撮る

るもので人々が写り込んでこそ、生きた街スナップになると思います。後ろ姿やシルエットなど写り方など条件はありますが、個人を特定できないものは問題ないという考え方もあります。

声をかけた場合は表現の幅が一段と広がってきます。背景やシチュエーションを考慮し、立ち位置やポーズなど協力いただければカメラ目線ありでも無しでも素晴らしいポートレートが撮れるのではないのでしょうか。いずれにせよ人の生き活きた表情や姿が最高の被写体であるのは間違いないのです。



## 街の風景の一部として撮る

この瞬間を見たとき即座にシャッターを切った。傍に親御さんがいたので「こんな写真が撮れたのですが作品として使ってよいですか？」と事後報告。快く、どうぞ！とお返事をいただいた。特に、公園などのスナップで子どもが入り込んでしまうときは、安心してもらうためにも親御さんに声をかけをすることをおすすめする。

Z6・NIKKOR Z 35mm f/1.8 S・f/16・1/640 秒・ISO400

## トラブルを

## 恐れずに円滑な コミュニケーションで

今？ 私撮られた？？

先述したとおり、人と人の良質な関係はしっかりとコミュニケーションから成り立っていきます。写真を撮影する際も、もちろん同じことが言えるでしょう。そもそもトラブルに発展する原因はどこにあるのでしょうか。一般的に見て街スナップの場合、トラブルを恐れすぎてかえって動きが不審になっていての方が見受けられます。小さいカメラで隠し撮りのように撮影する行為は、本人はさり気なくやっているつもりなのですが、それは街の中ではかえって目立っています。

「今、何を撮ったのですか？」という疑問から揉め事になったケースを聞くことがあります。人を傷つけたり、貶めたりするような写真を撮るのは許されることではありません。しかし純粋に写真を撮る行為は後ろめたいことではありません。ですからむしろ堂々とカメラを構えて撮影し、嫌がる方がいたら撮影しない、そんなときはカメラをしつかり下ろすなどしてアピールすることでトラブルにつながる可能性を減らすことができます。

## 上質なコミュニケーションツール

私が声をかけて撮影する時には、2パターンがあります。まずはストリートに声をかけて撮ります。その際「作品として使用させていただいて良いですか？」とお話します。もう1パターンは、まず撮影してその後「こんな良い写真が撮れたのですが、作品として……」と声をおかけします。

デジタルカメラにより、フィルム時代

と違ってすぐ写真を見せることができるので、どう撮ったのか、被写体となつた方が確認できると安心感が生まれます。そして、私は写真をその場でモデルとなってくれた方にお渡しするように心がけています。以前は個人情報をお聞きする形でしたが、今はそれを避けるためにスマートフォンに入れて写真をワイヤレス通信などを使ってお渡しして

います。個人情報のやりとりなしで撮った写真の受け渡しもできるのです。このように写真は上質なコミュニケーションツールなのです。写真があるから人と繋がることのできる、写真とはそんなポジティブなものであるべきなのです。皆さんもマナーやルールを大事にして積極的に生き活きた人の写真を残していただければと思います。



### 撮影後に声をかける

コロナ禍に開催されたお祭りの一コマ。まだマスクをしている人が周りにいる中、被写体の彼が違うマスク（お面）をしていた。これが面白いなと思い、川沿い佇む彼を離れた場所からまず撮りました。その後、彼に近寄り写真を見せて「これ使ってもいい？」と確認。OKをもらった作品だ。



### 後ろ姿やシルエットで撮る

光と影は写真にとって最高の被写体だ。そこに人が入ればさらにドラマチックになる。顔が見えないから見る人の想像力を掻き立てる。見せられないのではなく見せないのだ。ただのシルエット写真にしないためにも、動きや人間のドラマを感じさせる瞬間を狙おう。 Z6・NIKOR Z 35mm f/1.8 S・f/11・1/8000 秒・ISO400

ミゾタユキが愉しむ ● YUKI MIZOTA

# 旅先での人物スナップ

海外国内どちらでも、旅先でのスナップに人物を入れると  
旅の雰囲気だけでなく、その土地の空気感も表現できます。  
瞬間を逃さず自然体で捉える人物スナップのコツを解説します。



D500・AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR・f/5.6・1/2500 秒・ISO400・WB晴天

## 旅先での人物スナップ

旅先では風景だけではなく、その土地の人々と一緒に撮ると日常感のある光景や空気感を写し込むことができます。シャッターチャンスに出会うには「街スナップ」として人々を街並みに溶け込むように捉えたり、人々が集まる場所へ出かけて会話や動作に「ストーリー」がある光景を見つかったり、声をかけても記念写真ではなく「ポートレート」のように自然な瞬間を引き出してスナップするのがおすすめです。

海外で人に声をかけるときはスマイルと自然体で、言葉がわからなくてもカメラを指差してジェスチャーで伝えてみましょう。少し勇気がいりますが、撮ることができれば旅の楽しさもあがります。撮ったあとは現地の言葉でありがとうを伝えるためにワンフレーズだけは覚えておくとスムーズです。

レンズは自然な臨場感を大切にしたときは標準ズーム域が向いています。近づけるときはダイナミックに表現できる広角、街並みが広く遠いときは中望遠など、人物との距離感で変える表現のバリエーションも広がります。

人物スナップは狙うより出会うことも言えます。その場で感じた気持ち優先で、出合いの一期一会を楽しむといいシャッターチャンスに恵まれると思います。

## 人物はその場の空気を伝える

「人物を入れて旅先のロケーションを撮る」

観光スポットから少し足を伸ばしてストリートや路地などを散歩すると、人々の日常風景が目に入ります。街並みを広くいたれた構図にすると人物は小さくなりますが、光や影から季節感も伝わり空気感のあるスナップを撮ることが出来ます。歩きながら人との距離が近くなったときは、撮りたいと目にとまった人や出来事がシャッタータイミングです。

後ろ姿のときはそのままサッと撮り、向き合っているときはカメラを少し顔の近くにあげて「撮っていいかな?」というアクションでアイコンタクトをとるようにしています。OKかNGか言葉がわからなくても空気を読めばスムーズです。また、カメラでコミュニケーションをとることも旅のいい思い出になります。



### 撮ったあとの感謝を忘れずに!

ええ!? 二人のリアクションが楽しい瞬間をスナップ。ときにはアイコンタクトで確認するよりも速く、カメラを上げて「いい?」というノリと勢いで撮りますが、撮った後は必ず現地の言葉で御礼を言います。D500・AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR・f/4.1/200秒・ISO400



### 背景にロケーションのシンボルを

フィンランドはヘヴィメタルの国と後ろ姿を目で追っていたら、さりげなく手を繋いだ様子が素敵に見えました。LOVEですね。有名なSTOCKMANデパートのロゴを背景に入れ、赤のアクセントカラーでコントラストを効かせて印象的に。D500・AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR・f/8.1/800秒・ISO400



### 小さくてもシャッタータイミングで存在感アップ

海外で感じる空の色と日差しの強さを逆光のシルエットで印象的に。道路をわたる人達がトラムの線路にかかるタイミングでスナップ。小さい動きでもシャッタータイミングを選ぶと存在感が明確になります。D500・AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR・f/5.6・1/4000秒・-0.3EV・ISO400



## 表情と視線が集まる タイミングにドラマを見つける

多くの人で賑わうシーンを選び、商品を手にとり考えている様子、楽しそうなお店の人、それを眺める周りの人、3方向の視線が木べらに向いた瞬間にドラマを感じました。 D500・AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR・f/5.6・1/4000秒・-0.3EV・ISO400



## 映画のシーンを彷彿させる 瞬間を見つけて

お手伝いをしている子がエレガントで、映画「プロヴァンス物語 マルセルの夏」に出てくるシーンのようでした。眼の前の光景になにかを重ねて想像し、映画などからヒントを得ることもあります。 D500・AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR・f/4・1/160秒・ISO200



## 感情の対比を優しいトーンで 懐かしくとらえる

少女のおとなしく我慢している様子が可愛らしく、見た瞬間に吹き出しそうになりました。汚れたサンダルときれいなサンダルで囲むアングルで優しさや忍耐をテーマに親子をとらえました(笑)。

D500・AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR・f/4・1/250秒・ISO640



## 想像させる余韻で雰囲気アップ

カゴや木々をいれてカゴ職人の豊かな時間と穏やかな光を感じるイメージで全体をとらえています。人物は、ひいてとらえると想像させる余韻が生まれ雰囲気のある描写になります。 D500・AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR・f/4・1/400秒・ISO400

人々が集う雰囲気ナチュラルに  
人々が集まるところにドラマがある

多くの人と出会いたい時はその土地の伝統やファッション、人々の様子を身近に感じることができるイベントやマーケットに足を運びます。準備をしているところ、売る人と買う人の交流や賑わいに自分自身も関わりながらシャッターを押していくと場の空気に馴染み、カメラを意識せず自然な距離感でスナップしやすくなるのでおすすめです。

写真は瞬間を1枚で伝えるので、自分の好奇心がキュッと詰まったタイミングを手がかりにとらえるとストーリーリーのある瞬間を捕まえることができますと思います。例えば、眼の前の光景に、声が聞こえてきそうな表情を見つけた、手の動き、目線の角度から「どのようない気持ちで?」「何をしている?」などを感じとったりするといでしょう。

## 声をかけても自然な瞬間を

声をかけることを恐れないで

自然な姿を撮りたいけれど、カメラを向けるには近すぎる距離の時は、最初から声をかけています。カメラを指さした後、相手に手のひらを差し出すジェスチャーができれば「あなたを撮りたいです!」という気持ちは伝わります。OKをもらったら自分が動いて背景を選び、アングルを瞬時に決めて、スマイルで目線をあわせてから連写せずテン

ポよく撮っていきます。カメラ目線になる前にシャッターチャンスがあれば自然な瞬間をとらえることもできます。自分が緊張すれば相手も固くなるので、自然体でシャッターが押せると理想的。柔らかな表情をひきだすことができます。125秒以上を目安に、絞りや露出補正など事前に確認しておきましょう。



### 声をかけても目線がないタイミングをシャッターチャンスにする

フォトジェニックなマダム達に声をかけて、笑顔いっぱいな瞬間にスナップ。向かい側のお店の人がお二人に声をかけてくれたおかげで、親近感のある自然な雰囲気に。D500・AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR・f/4・1/8000秒・ISO220



### 気持ち優先で構図を決める

店先に並べた様々なニネの柔らかさと優しい表情と一緒に写したいと思い、広めの構図でスナップ。周りを広くいれて撮るか、アップで撮るか、その場で感じた気持ちで構図を決めています。D500・AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR・f/5.6・1/1000秒・ISO640

もっとボジティブに!  
人物スナップを愉しもう chapter 2



### 背景を選んでポートレートのように

ママさんにジェスチャーで伝えたところ、テーブルに乗せてくれました。逆光で透過した布がある背景を選び、白が似合う可愛い姿を透明感のある印象で撮りました。D500・AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR・f/3.5・1/125秒・ISO400



### 手を振って声をかけながら撮る

わー! キレイ! 民族衣装が似合う素敵な女性を見つけて思わず手を振ってスナップ。目や表情、仕草などのシャッタータイミング同様、レンズを通して交流が感じられた瞬間も大切に撮っています。D500・AF-S DX NIKKOR 16-80mm f/2.8-4E ED VR・f/4・1/8000秒・ISO360

松尾 純が提案する • JUN MATSUO

# 家族をモデルにした人物スナップ

家族や親族、友人。近い人物のスナップは、  
柔らかなコミュニケーションを活かしより自然なスナップが楽しめます。  
身内だからこそそのとらえたい瞬間や、自然な姿をとらえるためのコツを解説します。

## 日常の何気ない場面に 目を向けて

家族のスナップ写真。日々たくさんの時間を一緒に過ごしているからこそ、多くのシャッターチャンスに恵まれています。

私の場合、今一番多くの時間を過ごしている子どものスナップ写真です。懸命な姿、悲しそうな表情、一瞬の真

顔、ただ歩いている姿……。特別なシーンやポーズや、笑顔だけにとらわれず、日常の何気ない場面に目を向けてみてください。案外身近なところにチャンスは転がっているものです。大切なのは、それを「撮りたい」と思えること、その一瞬を逃さずシャッターを切ることだと思います。

また、日頃から多くの作品に触れて、視点や表現の幅を広げておくこともお

すすめです。写真集や、SNSなどに投稿される数多くの作品を見て「こんな場面、こんな瞬間もあるんだ」と感じられれば、日常に潜むシャッターチャンスはもっと増えるはずです。いろんなイメージを事前に持つことで、表現の引き出しが増え、とっさに出会うシャッターチャンスで撮影した写真が「ただ撮っただけ」の一枚ではなく、特別な作品へと変わるでしょう。



(上) この頃、家の窓際にアウトドアチェアを置いて、夕暮れ時に外の景色を眺めるのが娘との流行りでした。この日は薄暮の柔らかい光がとてもきれいで、良い瞬間に出会える予感がして、カメラを手元に置いていました。そんな時、娘がふと窓の外を見つめた瞬間に撮った一枚。 Z8・NIKKOR Z 35mm f/1.8 S・f/1.8・1/160 秒・ISO800



(下) お泊りでお出かけした時、楽しかったのか、帰りたくないとうるうるした瞳とこぼれ落ちる涙がきれいで、シャッターを切りました。透明感を強調するためボケを活かしてハイキーな仕上がりに。 Z7・NIKKOR Z 24-70mm f/4 S・f/4・1/100 秒・ISO2500

## 自然体の姿を直感的に動いて撮る

家族がモデルの場合、家の中やよく行く公園、ロケーションは様々であります。行動の予測、光の向きなどを予測して、突然のシャッターチャンスに備えましょう。

朝夕の光が写真をドラマティックに演出してくれるのは言うまでもありませんが、日中の高い日差しが作る影も、

工夫次第で魅力的な表現になります。

写真表現に絶対はありません。フォーカスをあえて外すなど、表現の幅を広げて楽しんでください。ただし、狙いすぎて何枚も撮影すると、かえって伝わりにくくなることもあります。瞬間的に撮った写真は、自分の素直な気持ちを伝えるやすいものです。

### 影なども上手く使う

雪が降る寒い日、公園で自転車の練習をしていた娘が、ヘルメットと軍手を付けたまま遊具で遊び始めました。まだ日が高い時間帯で、遊具の格子から落ちる影と、ひょっこり顔を出した娘の姿が印象的な一枚になりました。突然のシャッターチャンス、光線状況などかえられない場合、影なども要素として上手に取り込みましょう。

Z7・NIKKOR Z 24-70mm f/4 S f/4・1/2500 秒・ISO400



### 何かに集中している姿を収める

ラジコンで遊んでいる最中に、穴にハマって立ち往生。何とか前進させようとラジコンを覗き込む息子。一瞬見せたかわいい行動でした。

D850・AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8G ED・f/2.8・1/6400 秒・ISO640



### いつもカメラを携帯する

娘とわたしの母。用事を終え、二人を探していると、がらんとした教室で楽しそうに話している姿を見つけ、とっさに撮りました。母の幸せそうな笑顔と、二人の微笑ましい雰囲気が大好きな一枚です。ドラマは日常にあふれています。カメラを常に持っていることが大事。 D850・AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8G ED・f/3.2・1/1600 秒・ISO1000

## アプローチポイントを見つけて

### 舞台を作る

自然光が差し込む暗がりや、夕陽が逆光で美しく映える瞬間など、子どもをその場に立たせたり、遊ぶ場所を少し移動してもらうことがあります。家族だからこそ気軽にお願いできることです。モデルとなる被写体の子どもの気持ちが変わらないよう、しつこく言わないことが大切です。どのように表現

したいかを考えながら、光や背景を意識してポジションを決め、カメラの設定も整えます。その後は、子どもたちの動きに合わせてシャッターチャンス待ちします。時には、子どもが自然体に戻れるように、写真以外の話をしたり、こちらから動きを加えて注意をカメラからそらしたりする工夫も必要です。



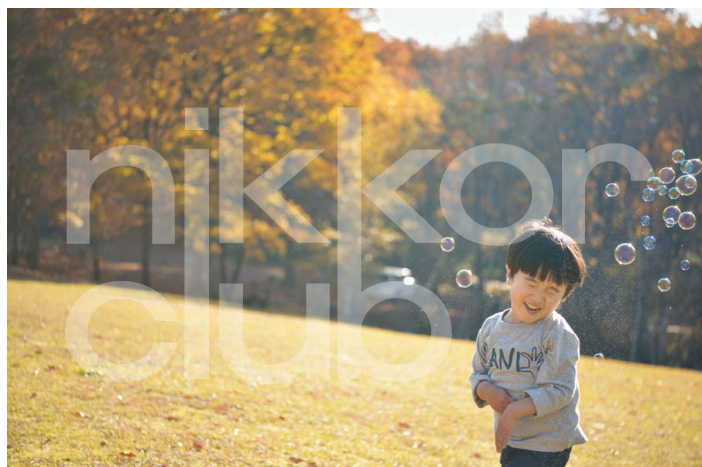
### 自然な動きを作る声かけ

古民家の窓際で、自然光とすりガラスの美しさを活かして撮影。露出をアンダーにしてシルエット調に、格子が映るよう水平垂直を意識しました。「窓の外に何が見える？」と声をかけつつ、あとは子どもたちの自然な動きを待ちました。  
Z8・NIKKOR Z 35mm f/1.8 S・f/1.8・1/1250 秒・ISO200



### 表情を作るためのワンアクション

水遊び中の子どもたち。そのやんちゃっぷりを収めたくて、片手でカメラ、もう片手でホースを握り、水をかけながら撮影しました。軽量なカメラとレンズのおかげで片手撮影も可能に。SNSなどに掲載する時は、必ずお友達の親御さんに許可を取ることも忘れずに。  
Z6 III・NIKKOR Z 26mm f/2.8・f/3.2・1/2500 秒・ISO400



### イメージする舞台を作り込む

夕方の美しい光とシャボン玉の透明感を出したくて、逆光になる位置を選びました。背景に他人が入らないように気をつけながら、主人にシャボン玉を吹いてもらって、息子が遊びに夢中になる瞬間を狙いました。  
D800・AF-S NIKKOR 24-70mm・f/2.8G ED・f/3.2・1/5000 秒・ISO400



## 動きの速い被写体は オートエリアAF

オートエリアAFでピント合わせをカメラに任せたので、動きの速い娘やローアングルでの撮影でも構図に集中できました。臨場感を出すために海の中に入り、踏み込んで撮影しましたが、カメラが濡れないようにも注意できました。 Z5・NIKKOR Z 35mm f/1.8 S・f/1.8・1/8000 秒・ISO200

## おすすめの AFエリアモードの 活用と構図

被写体に動きがある場合、フォーカスモードはコンティニューアスAFに設定しましょう。その際、AFエリアモードが重要です。被写体が1人なら、被写体検出※を「人物」にしてオートエリアAFでピント合わせをカメラに任せると素早く対応できます。複数人の場合は、3Dトラッキング※に切り替えることで、選んだ被写体をカメラが追尾してくれます。

動く被写体を撮る時は、構図が崩れたり単調になりやすいので、オートフォーカス機能を活かしつつ、構図にも意識を向けましょう。

もっとボジティブに！  
人物スナップを愉しもう chapter 3



## 瞳や顔が判別できないときは ダイナミックAF

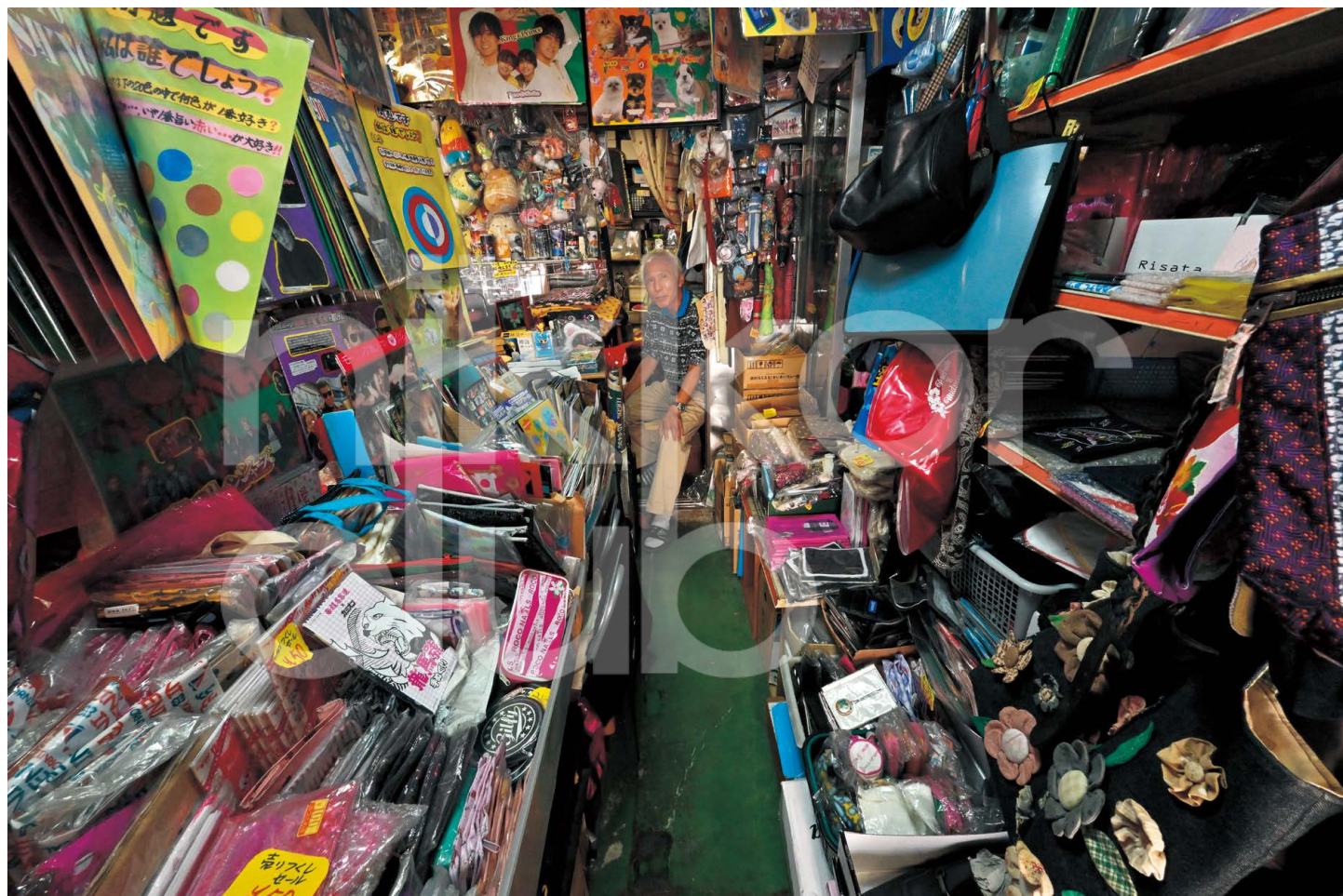
必ずしも、被写体がこっちを見ている状況とは限りません。瞳や顔が見えにくい状況では、人物検出が機能せず、追尾がうまくいかないことがあります。そんな時はダイナミックAFに切り替え、最終的な構図を考えながらフォーカスポイントを置き、被写体を追います。 Z7 II・NIKKOR Z 35mm f/1.8 S・f/1.8・1/320 秒・ISO200



## 動きが少ないときはシングルポイントAF

日々の何気ない風景や幸せを表現したくて、幼い娘がちょこんと佇む姿を点景で撮影。被写体が小さく、上下左右の動きが少なかったのでシングルポイントAFを選びました。 Z7 II・NIKKOR Z 24-70mm f/2.8 S・f/2.8・1/1000 秒・ISO100

# 大西みつぐ × NIKKOR Z 14-30mm f/4 S



Z8・NIKKOR Z 14-30mm f/4 S・f/18・1/13秒・ISO3200 (墨田区京島)

いつも賑やかな  
「スターワン」の店内。  
まるでポップアートの異空間。  
NIKKOR Z 14-30mm f/4 Sが  
拔群の描写力はさまざまな  
モノを克明に浮かばせ、  
過ぎ行く時代の  
残り香を感じさせてくれた。  
町はいつも美しい。